

▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽
 ひろしま遊学の森 緑化センターメールマガジン VOL.318H28.4.27
 △▽△▽▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲

ハンカチノキやツツジ類をはじめ、園内の花の多くが例年より早く見ごろを迎えています。フジも満開になりました。第3,4駐車場上の「旧アジサイロード」は、近年セイヨウシャクナゲを植栽し、「しゃくなげロード」と改名しました。現在たくさんのシャクナゲが咲き競っています。来園時にはぜひご覧ください。

★ 開花情報

ハンカチノキ (写真1)

中国大陸原産の落葉高木で、自生地は標高2000m付近の山地に限られます。花は両性花で、基部から白い2枚の総苞片を開きます。この総苞片をハンカチに見立てて名付けられました。別名ハトノキとも呼ばれます。早くも花が落ち始めていますので、お早めに。(※ミズキ科, オオギリ科, ハンカチノキ科等の分類あり。APG体系: ヌマミズキ科 (ミズキ科))

場所: 管理事務所前

ウワミズザクラ (上溝桜) バラ科ウワミズザクラ属 (写真2左)

亀甲占いで、輪切りにした材の上面に溝を彫って利用したため、ウワミゾザクラ (上溝桜) と呼ばれていたものが転訛してウワミズザクラと呼ばれるようになったといわれています。サクラの名がつかますが、花はイヌザクラやセイヨウバクチノキに似ており、長さ10cm前後のブラシ状の総状花序に小さな花をたくさんつけます。今日の雨で散り始めています。

場所: レストハウス谷浴い

ハイノキ (灰の木) ハイノキ科ハイノキ属 (写真2右)

山野のモミ、ツガ林に多く自生する常緑小高木で、庭木にも利用されます。4~5月に直径1cm強の白い花を咲かせます。アルミニウムを多く含み、本種を燃やした灰を染物の媒染液として利用したため、ハイノキと呼ばれています。別名のイノコシバは、枝でイノシシを縛っていたことに由来するといわれています。

場所: レストハウス谷浴い他

また、ツツジ類も見頃を迎えています。

クリシマツツジ (霧島躑躅) (写真3左) は江戸時代に育成された品種で、親はヤマツツジやミヤマクリシマ、サタツツジと考えられています。(場所: 管理事務所横三叉路)

この他、レンゲツツジの黄花品種のキレンゲツツジ (黄蓮華躑躅) (写真3右) も第2駐車場で見られます。

★園内開花状況まとめ

咲き始め	ミヤマガマズミ, ガマズミ, コバノガマズミ, コガクウツギ, ヤマボウシ, ギンリョウソウ, ヒラドツツジ
見頃	ハンカチノキ (写真1), ウワミズザクラ (写真2左), ハイノキ (写真2右), クリシマツツジ (写真3左), キレンゲツツジ (写真3右), キシツツジ, フジ, ヤマフジ, ジャコウフジ, マルバアオダモ, ヤエガワカンバ, オオモミジ, ハナミズキ, ナナカマド, ズミ, ナガバモミジイチゴ, ユズリハ, ミツバアケビ, ムベ, セイヨウシャクナゲ, エヒメアヤメ, フデリンドウ, キランソウ, マツバウンラン, ジシバリ 他



写真1 ハンカチノキ（管理事務所前） H28.4.27



写真2左 ウメズクラ（レストハウス谷浴い） H28.4.27



写真2右 ハイノキ（しゃくなげロード） H28.4.27



写真3左 キリシマツツジ (管理事務所横三叉路) H28.4.27



写真3右 キレンゲツツジ (第2駐車場) H28.4.27